

## ● 航空機材の種類

### \* 貨物便 (Freighter)

貨物機を用いた貨物専用便。貨物機は旅客機の客席を撤去して内部を貨物スペースとしているため大型貨物や・大量の貨物が輸送可能。貨物専用の機材となるため、発着地共に荷動きのある地域間で就航している。

### \* 旅客便 (Passenger)

航空機の上部を旅客スペース、下部を貨物スペースとして就航している便。  
貨物便と比較すると搭載可能な物量は 1/2 以下となる。



### ・ 広胴機 (Wide Body)

一般的に使用される機材で、旅客室に通路が 2 本存在する。

貨物は Unit Load Devise (航空機への搭載器具) を使用して搭載される。

\* 以下で詳細説明

### ・ 狭胴機 (Narrow Body)

旅客機のうち、機体の幅が短く旅客室の通路も 1 本のみの機材。

貨物は手積みで直接搭載されるため、受託貨物は人力で運べる荷姿、サイズ・重量に限られる。

## ● 航空機への搭載手順

- ①弊社または荷主様にて梱包、輸出通関、航空会社へ引渡し  
(梱包方法：カートン梱包、パレット梱包、木箱梱包など)
- ②航空会社の上屋にて ULD に組み付け

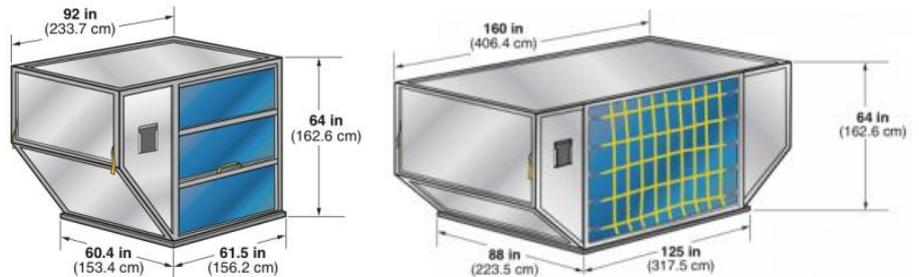
ULD (Unit Load Devise)

貨物を航空機に搭載する際に使用する器具。基本的に全ての貨物は、この ULD に組み付けられた上で航空機に搭載される。パレット型、コンテナ型など様々な形状のものが存在する。

パレット型



コンテナ型



< ULD への組み付け手順 (例：パレット ULD) >

- ①航空会社の上屋作業員が、貨物の重量配分や積み付け効率を考慮して、ULD パレットに組み付ける。
- ②積み付け後、シュリンクラップとビニールシートにより防水対策を施し、縄で強固に固定して完成。



### ③航空機への搭載

(1)完成した ULD を航空機まで運搬



(2)ULD を航空機に搭載



(3)ULD 搭載前の貨物室内



(4)ULD 搭載後の貨物室内

